

踏み跡 <My Mountains>

丹沢	塔ノ岳から丹沢三峰縦走	No.204
----	-------------	--------



丹沢の主な稜線の内、まだ丹沢三峰を歩いていなかった。登りたい山をリストアップすると必ず出てくる。丹沢は人の少ない季節の方が静かで良いと思い、冬の山歩きプランとした。自宅から車で行き大倉に車を置いて山に入り、宮ヶ瀬に下山したあとでバス電車と乗り継いで大倉に戻って車を拾って帰る、という一風変わったプランを作ってみた。

昭和61年1月11日

4時に起床して5時20分に家を出発。京葉道路・首都高速・東名経由で西へ。途中で眠くなったので、海老名サービスエリアで6時50分から7時15分まで仮眠。ちょっと眠っただけで随分すっきりするものだ。爽快な気分で見ると富士山がウソのような大きさと立派な姿を見せてくれ、完全に目が覚めた。大倉に7時50分に到着。駐車料金(500円)を払って登山スタイルに着替え、8時33分出発。水無川に沿って遡り戸沢合に出合に9時50分到着。写真を撮りながら水無川本谷を遡行して塔ノ岳に登ろうと思ったが、沢に入ったら滝があまり凍っていないので写真を撮る価値がない。作戦変更、遡行は諦めて天神尾根に取り付くことにした。

11時、天神平で大倉尾根に飛び出た。目の前に

富士山。一日中見えることだろうからあわてて写真を撮ることもなかろうと思っていたら、見る見るうちに左の肩から雲が湧きだしてきてしまった。(右上写真)

塔ノ岳(1490.9m)12時ちょうど。勿論昼食。フランスパン・ポッカスープ・イワシ蒲焼・ポテトサラダ・アーモンドカル・紅茶と豪華メニュー。富士山のほかに北アルプスも南アルプスも良く見えていたが、食事をしているうちに雲が多くなってしまい写真を撮るほどの景色ではなくなってしまった。やがて日が当らなくなると寒々しい食事になってしまった。

(右下写真：どんどん雲に襲われていく富士)

12時55分塔ノ岳を出発。北面に入ると雪があり、所々に具合悪く凍っているところもある。丹沢山(1567.1m)14時。太陽の位置に応じて大山の山肌の色が変わって行く。もうピンク色に変わり始めている。丹沢ならではの景観かもしれない。ここから主稜線を離れて北東へ、丹沢三峰の稜線に入る。北東面は雪が多く歩きやすい。狼か山犬かわからないが子どもが二匹で餌を求めているような動き方で歩いている姿が見えた。近くに親が居るのかもしれない、一瞬緊



踏 み 跡 <My Mountains>

張が走ったがいつの間にか視界から消えて行った。

瀬戸沢ノ頭はいつの間にか通り過ぎてしまったようだ。太礼ノ頭 14 時 42 分、円山木ノ頭 15 時 06 分、本間ノ頭（ここは三角点がある、海拔 1345.4m）15 時 31 分、その名に示す三峰を一気に通過。松小屋沢ノ頭、御殿森ノ頭・・・あとは日没との競争。

もう足元も真っ暗になり、動物的な勘だけで歩くようになった頃、17 時 35 分宮ヶ瀬の馬場に到着。

お店は閉まっており自動販売機のジュースで我慢。本厚木へ行くバスは 18 時 12 分発。

本厚木駅 19 時着（バス代は 510 円）、時刻表を見て大急ぎで 19 時 09 分発の下り電車に乗車。

渋沢 19 時 39 分着、大倉行のバスに登山スタイルで乗るのにはちょっと恥ずかしいような時間帯。

バスは 19 時 45 分発（140 円）、大倉 20 時着。もう登山客のにぎわいも消えて静まり返っている駐車場で顔を洗って服を着替えて、20 時 20 分出発。

ちょっと遅めのため道路の交通はスムーズで、自宅帰着は 22 時 40 分だった。一気に登り一気に下った感じで、足腰の筋肉痛がひどかった。

以上